

ライオン通信



Vol.98 平成 24 年 2 月 10 日発行

郡家コンクリート工業株式会社
〒680-0427 鳥取県八頭郡八頭町奥谷 206-1
TEL(0858)72-1154 FAX(0858)72-1614

<URL><http://www.kooge.jp/>

生コンの品質管理監査制度と(適)マーク承認工場

(まるてき)

建設、建築業界が小泉改革により不景気のどん底に落とされて10年以上になりますが、自社の存続や目先の利益のために資材等は「安ければ何でもいい。品質は二の次」という風潮が強くなるばかりだと思います。

主要資材の生コンでも「JISさえあればいい」というのは良い方で、民間工事などではJISすらない生コンを平気で使う建設業者も少なからずいます。こういう業者にマイホームや事務所、工場等を建てられたらたまったものではありませんが、施主は何も知らずに業者を信用しているのです。

民間もそうですが特に公共工事においては、コンクリート構造物の性能確保には生コンの品質確保が不可欠です。そこで今回は(適)マーク承認生コン工場について説明します。

(適)マークは生コンの『承認願』でご覧になった方もいらっしゃると思いますが、これは全国生コンクリート工業組合連合会が、購入者からの信頼性を高めることを目的に生コンの品質管理の透明性及び公正性を確保し品質管理体制の確立を図るため、経済産業省、国土交通省等の指導を得て制度を作り、1997年から全国共通の「全国統一品質管理監査基準」、「レディーミクストコンクリート全国統一品質管理監査チェックリスト」に基づき、各都道府県(地区会議という)で生コン工場の立ち入り検査を実施しています。

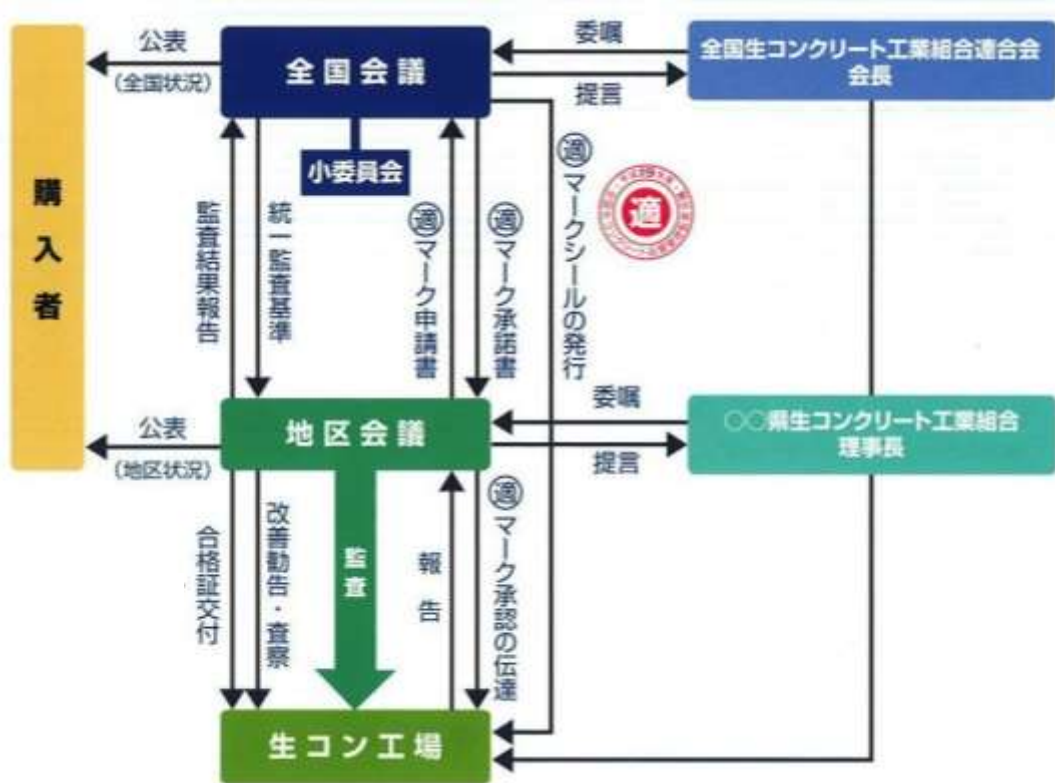
分かりやすく言うと(適)マーク付の承認願いは全国統一基準の品質管理合格工場の証明なのです。

また、地区会議では監査の中立性、公正性、透明性を確保するために、産・官・学の委員構成になっています。例えば鳥取県生コンクリート品質管理監査会議では議長は鳥取大学教授、副議長は県土整備部技術企画課長など有識者や各発注機関の技術責任者また、施工を行う建設業関係団体からも技術責任者の方々が委員を構成しています。

長年に及ぶ関係者の努力でこの制度の認知度も高まり、国土交通省の土木工事共通仕様書、建築工事監理指針、土木学会のコンクリート標準示方書、各都道府県の土木工事共通仕様書などで「全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等(適)マーク承認工場)から選定すること」などと明記されるようになりました。

しかし、生コンの承認願いを受付ける出先発注機関においては100%正しく認知されているわけではありませんので、今後も更にPRしていく必要性を関係者一同強く感じています。

■制度のしくみ



公共工事では低価格入札が依然として相次いでいますが、その品質は確保されなければなりません。

どうか(適)マークの生コンが全国統一の安心な生コンの証であるということをご理解いただき、優先使用していただきますようお願いいたします。

鳥取県では
(適)マークを生コン使用承認願に貼って
PRしています!



国土省・JH・JS等の
発注工事



鳥取県・市町村等の
発注工事



会計検査こぼれ話

今月も、『公共工事と会計検査』の改訂7版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎 (いちかわ けいじろう)氏 は 昭和19年生まれ。元会計検査院 国土交通統括検査室長を務め、現在は財団法人経済調査会の技術顧問としてご活躍中です。

会計検査こぼれ話：「公営住宅の検査」(下)

水曜日、電話のあった市へ検査に入りました。早速〇〇住宅へ案内してもらい、個別に住宅を見ていくと、問題の家がありました。ひと目でわかります。周りの公営住宅とは全く異質の木造総2階の立派な家です。公営住宅の原型は全くとどめていません。私はさも意外な事実を発見したような顔をして、市の担当者に説明を求めましたが返答はありません。同様な家がもう1軒ありました。



検査会場に戻って詳しい話を聞くと、かつて、この公営住宅を入居者に払い下げるという話があったものの最終的に払い下げは認められず、それに剛を煮やした一部居住者が公営住宅を取り壊してそこへ家を建ててしまった。市も途中で中止を要請したが、聞き容れられず強行されてしまったというのです。そして、市はその後の確な処置を執らないばかりか、何とその住民からその後も家賃を収納していたというのです。これでは現状追認ではないか。こうした無謀、違法行為には断固として法的措置を執るべきではないかと市の部長に言うと、部長も黙ってうなずきます。これまでの詳しい経過をまとめて最終日県庁まで届けるよう要請して会場を後にしました。

ホテルに帰って着替えていると、妻から電話が入り、「体調を崩していた母の容態が急変し入院した。医者は今晚持つかどうかと言っているので戻ってきて欲しい」とのこと。急なことで驚きましたが、検査の真っ最中ですぐ帰ることはできないことを話し、定期的な連絡を頼みました。母はその夜は持ちこたえましたが、翌日昼に息を引き取りました。他の出張者や検査院に連絡をとり、出張命令の変更許可を得て新幹線に飛び乗りました。懸念は最終日の「講評」でしたが次席の調査官に頼みました。私自身3日間の検査でいろいろ複雑な問題があったので、それらを講評で調査官にそのまま読み上げてもらえばいいような原稿に書き上げるのに朝までかかってしまいました。

後日、問題の住宅については原型に復するよう市が訴訟を起こしたことなどについての報告がありました。

レオちゃんの製品紹介コーナー

◆◆◆◆ アクアテール35 ◆◆◆◆

NETIS(新技術情報提供システム)
登録No. CG-100020-A



スーパーテールアルメ

アクアテール35

JFE商事 テールワン 株式会社
JFE
東京本社 テールアルメ営業部
〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-22-17
TEL:03-5836-7573 FAX:03-5836-7585

レオちゃん こんにちは! ライオン通信のレオちゃんです♪

今月はJFE商事テールワン株式会社さまの「**アクアテール35**」の登場です!

過去数回にわたってご紹介してきましたが、いよいよ我が社でも製造を開始しました♪

アクアテール35は、皆様すでにご存知の補強土壁であるテールアルメ工法との併用も可能な水中テールアルメです。

「国土交通省 河川砂防技術基準」に準拠した壁厚35cm製品です。従来のものより、より強く・より経済的になり道路工事・河川改修工事・ダム工事・その他造成工事等、幅広く活用できる工法です。

この機会に、ぜひご検討ください♪

特 徴

- ① **壁厚を厚くし、流水に対する安定性確保（塩害地域の適用も可能）**
パネル形状は矩形。壁厚は35cm。従来パネルの約2.4倍の重量で安定性も抜群!
- ② **幅広ストリップの使用により、補強材延長を削減**
80mmの幅広ストリップを最適配置することにより、補強材延長の低減、背面掘削を最小限に抑えることが出来ます。
- ③ **盛土層厚の改善により、総転圧回数を低減（層厚25cm→30cm）**
- ④ **抜群の安定感で施工時の微調整が軽減**
- ⑤ **テールアルメ工法との併用が可能**
天端用製品は従来製品が敷設できるような天端形状としており、水位の影響のない一般部は、より経済的な従来製品の併用が可能です。

①【パネル】

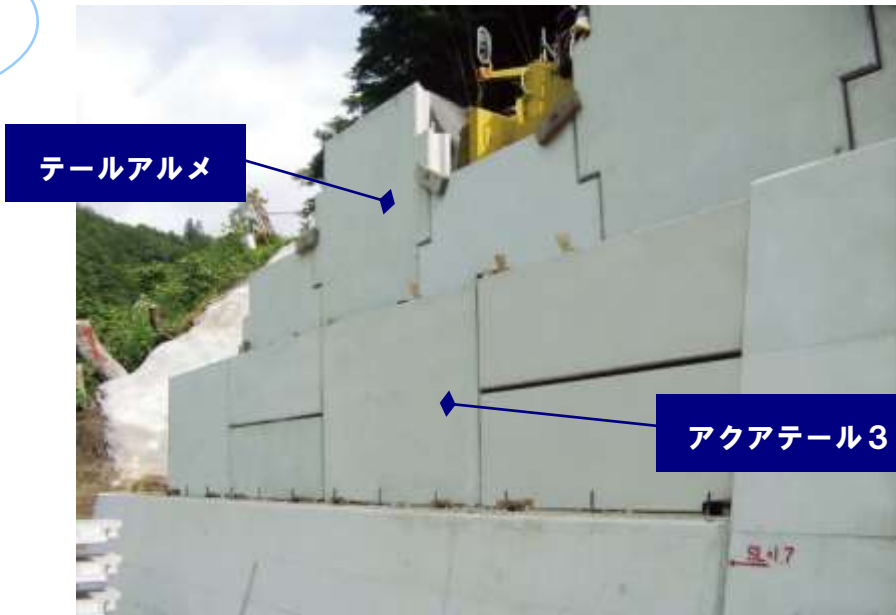


シンプルな継手形状

安定感抜群! 施工も早い! 経済的!



⑤【テールアルメ工法との併用】



テールアルメ

アクアテール35

河川水位以下は アクアテール35、河川水位以上は従来タイプのテールアルメが使用されています。

②【ストリップ(補強材)】



(左) 従来 (右) 幅広

施 工 手 順

壁面パネル組立て・設置



補強材（ストリップ）敷設



掘削・整地

基礎工

壁面パネル組立て

ストリップ敷設

河川内の足場工が不要となりました。
プレキャスト化、使用部材の減少によって、省力化・工期の短縮が図れ、トータルコストの縮減が可能となりました。

盛土材の巻き出し・締め固め



繰り返し作業

盛土材の巻き出し敷き均し

盛土材の締め固め

付帯工

完 成

水平目地材設置



◆製品に関するお問い合わせ☆資料請求は

直通電話: **0858-73-0500**

までお気軽にどうぞ!

FAX : **0858-73-0535**

E-mail : info@kooge.jp



◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

3番目の子供(二女)が春から東京の専門学校に行くことになり先日、親子3人でアパートを決めるため上京してきました。子供は春からの新生活に胸を膨らませ、「もっと駅の近くがいい」とか「もっときれいな部屋がいい」とか言って品定めをしていましたが、親は「下手をするともう二度と一緒に生活しないかもしれない」という気持ちがあり複雑な心境でした。春からはわが家も両親と私と家内の4人暮らしになります。 (山根)



春はもうすぐですね



<URL> <http://www.kooge.jp/>

<e-mail> info@kooge.jp